

(記載例)

法定相続情報番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇〇

## 被相続人法務太郎法定相続情報

最後の住所 〇県〇市〇町〇番地

最後の本籍 〇県〇郡〇町〇番地

出生 昭和〇年〇月〇日

死亡 平成28年4月1日

(被相続人)

法 務 太 郎

住所 〇県〇郡〇町〇34番地

出生 昭和45年6月7日

(長男)

法 務 一 郎 (申出人)

住所 〇県〇市〇町三丁目45

出生 昭和47年9月5日

(長女)

相 続 促 子

住所 〇県〇市〇町三丁目45番6号

出生 昭和〇年〇月〇日

(妻)

法 務 花 子

住所 〇県〇市〇町五丁目4番8号

出生 昭和50年11月27日

(養子)

登 記 進

以下余白

作成日：〇年〇月〇日

作成者：〇〇〇士 〇〇 〇〇

(事務所：〇市〇町〇番地)

一覧図は、登記所において唯一の番号である「法定相続情報番号」により保管・管理される。法務局で行う不動産登記の申請等手続きでは、この番号を申請書に記載することで、一覧図の写し(証明書の原本)の添付に代えることができる。

✓ 法定相続情報一覧図の写しは、偽造防止措置の施された専用紙で作成される。

以下のとおり、申出日を含んだ認証文、一覧図の写しの発行日、登記所名等、登記官印、注意事項が印字される。

頁番号及び総頁数が振られる。相続人が多く、法定相続情報一覧図が2枚以上にわたる場合も想定

これは、令和〇年〇月〇日に申出のあった当局保管に係る法定相続情報一覧図の写しである。

令和〇年〇月〇日

〇〇法務局〇〇出張所

登記官

〇 〇 〇 〇

職印

注) 本書面は、提出された戸除籍謄本等の記載に基づくものである。相続放棄に関しては、本書面に記載されない。また、被相続人の死亡に起因する相続手続及び年金等手続以外に利用することはできない。

整理番号 S 〇 〇 〇 〇 〇

1 / 1

法務局WEBサイト内

法務省民事局作成 ～法定相続情報証明制度について～ より引用